

1．会 合 名	格付の利用のあり方に関するワーキング・グループ（第2回）
2．日 時	平成22年12月15日（水）午後4時30分～6時
3．議 案	格付を巡る現状等について
4．主な内容	<p>格付を巡る現状等について（市場関係者からのプレゼンテーション）  大和証券キャピタル・マーケット 金融証券研究所、格付投資情報センター及びスタンダード&amp;プアーズ・レーティング・ジャパンより、「格付を巡る現状等」について説明が行われ、大要以下のとおり意見交換が行われた。</p> <p>(1) 大和証券キャピタル・マーケット 金融証券研究所【クレジット・アナリスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・格付利用者として（格付の有用性と留意点）</li> <li>・コンペティターとして（格付の留意点とクレジット・アナリストの存在意義）</li> <li>・投資家と対峙する立場として（格付に縛られた投資スタンス）</li> </ul> <p>(2) 格付投資情報センター【信用格付業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信用格付の歴史</li> <li>・市場における役割</li> <li>・格付を巡る現状等</li> </ul> <p>(3) スタンダード&amp;プアーズ・レーティング・ジャパン【信用格付業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・格付の歴史、S &amp; Pの取組み</li> <li>・格付の定義、格付の意義</li> <li>・格付のビジネスモデルについて</li> <li>・スタンダード&amp;プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社（SPJ）について</li> </ul> <p>（意見交換等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーポレートファイナンスにおける格付については、大きな問題がないのではないのか。</li> <li>・開示書類等に格付についてのディスクレマー等を過度に記載すると、本来認識すべき情報が埋もれてしまう可能性があるのではないのか。</li> <li>・格付の利用のあり方についての議論は、金融商品によってその内容が異なるのではないのか。</li> </ul>
5．その他	本議事要旨は暫定版であり、今後、内容が一部変更となる可能性があります。
6．本件に関する 問い合わせ先	自主規制2部（03 - 3667 - 8456）